

大豆栽培は地下水位をコントロールできるほ場で栽培しましょう！

栽培管理は気象予報と地下水位を確認しながら
播種と防除は適期を逃さずに行いましょう

1 ほ場選定

(1) 好適な地下水位（40cm程度）を目標としたほ場の整備

大豆栽培において地下水位 40cm 程度が最も根張りが良く、根粒菌の発生も良好となり、好適な条件であることから、ほ場選定は次に留意して行う。

- ① 水田から転換した初年目や水田が隣接するような地下水位が高いほ場では、暗渠の埋設や明渠を掘り、排水改善を図る。
- ② 周囲が畑地となっているような地下水位が低いほ場では、暗渠を操作して地下水位40cm程度の保持に努める。

<地下水位と栽培の影響>

地下水位	栽培への影響	ほ場の具体例
10cm以上	出芽や初期生育に湿害を受けやすい	・水田からの転換初年目
20cm程度	収量が低下	・隣接ほ場が水稻栽培
40cm程度	良好	—
50cm以下	少雨の影響を受けやすい	・畑地化の団地内

(2) 暗渠の点検・整備

暗渠の効きを確認するとともに、降雨による停滞水が速やかに排水されるよう、明渠の点検や補修を随時行う。

(3) 枝豆栽培ほ場との隔離

周辺ほ場の耕作計画を把握し、枝豆が栽培されるほ場から50m以上離すこと。

<栽培管理ミニ情報>

地下水位の簡易的な確認方法

- ・土壌50cmほど掘削した穴に塩ビ管等を垂直に埋設し、しばらく経ってから、木質の棒などを入れ、濡れている部分を地下水位として測定する。

地下水位調整方法

- ・定期的に地下水位を確認し、暗渠等を操作して適正水位を確保する。

梅雨明け後の地下水位管理方法

- ・花芽分化期から開花後42日までの期間は、高温少雨により収量へ大きく影響を及ぼす期間である。
- ・令和5年に青立ちがみられたほ場は乾燥しやすいため、高温少雨に備え、気象庁が発表する1か月予報を参考にしながら、梅雨期以降は暗渠を閉じ、天水を最大限利用できるようにする。
- ・地下かんがいシステムが備わっているほ場では積極的に活用し、地下水位40cmの保持に務める。

2 種子消毒

- 紫斑病、タネバエ、ネキリムシ類、アブラムシ類、フタスジヒメハムシの防除には、クルーザーMAXXの原液を乾燥種子1kgに対して8mlを塗抹処理する。なお本剤は鳥害(ハト、キジバト)対策にも有効である。
- クルーザーMAXXと根粒菌を処理する場合は、クルーザーMAXX塗抹処理、根

粒菌粉衣の順に処理する。

薬剤名	施用量	施用時期
クルーザーMAXX	原液 8ml/kg	播種前

3 耕起作業

(1) 碎土率を確認

- 出芽の良し悪しは、土のこなれ具合が大きく影響するので、耕起作業は畑の乾き具合を見計らいながら行い、碎土率(2cm以下の土塊の割合)が70%以上確保できるようにする。
- 降雨後の土壌水分が高い状態で耕起すると土のこなれが極端に悪くなり、碎土率が低下し、出芽率や除草剤の効果を低下させるので行わないこと。なお、一部の土壌では碎土率が高まると降雨で硬膜が形成され、透水性や通気性を損なう場合があるので注意すること。

(2) 深耕による根域の確保

- 生育の安定には根域の確保が重要であり、深耕を行い、耕深20～30cmを確保する。

4 播種作業

- 播種適期は、5月下旬～6月中旬であり、種子の準備や耕起作業は計画的に行うこと。
- 播種時期に応じた適正量と畦間、株間により、生育量を確保すること。
- 極端な早播きでの低温は出芽までの日数を長くし、害虫等の被害が多くなるので注意する。
- 播種期が遅れると生育量が小さく、子実重が低下するので、播種が遅れる場合は播種量を多くし、生育量を確保する必要がある。

<温度による発芽への影響>

温度	発芽への影響
30～35℃	適温
15℃以下	遅れ
10℃以下	きわめて不良

<リュウホウの播種時期別最適播種量(10a)>

播種時期	播種粒数	播種量	畦間	株間
5月下旬 ～6月上旬	13,000～ 16,800粒	4.0～ 5.0kg	75cm 70cm	16～20cm 17～21cm
6月中旬	17,800 ～	5.3 ～	75cm 70cm	12～15cm 13～16cm
	22,200粒	6.6kg	65cm	14～17cm
6月下旬 ～	25,000 ～	7.5 ～	75cm 70cm	10cm 10～12cm
	33,300粒	10kg	65cm	10～12cm

5 気象情報

- 気象庁の1か月予報(4/27～5/26)によると
 - ・暖かい空気に覆われやすいため、期間の前半は気温がかなり高くなる見込み。
 - ・降水量、日照時間はほぼ平年並みとなっている。

6 病害虫の発生予察情報

- 秋田県病害虫防除所が4月24日発表した5月の主な病害発生予報は次のとおり。

病害虫名	発生量(全県)
ネキリムシ虫類	平年並